

2023年2月28日

トリニティ・テクノロジー株式会社との業務提携による 「スマート家族信託」の提供開始について

めぶきフィナンシャルグループのめぶき証券株式会社（代表取締役社長 中島 文規）は、めぶきフィナンシャルグループ内のCVC（コーポレートベンチャーキャピタル）ファンドであるJレイズ投資事業有限責任組合が出資するトリニティ・テクノロジー株式会社（代表取締役 暦和寛）と提携し、専用アプリを活用した家族信託^{*1}サービスである「スマート家族信託」の提供を開始しますので、下記のとおりお知らせいたします。

本件は2022年4月からスタートしためぶきフィナンシャルグループ第3次グループ中期経営計画で掲げる「事業領域拡大への挑戦」にて取り組む戦略的な投資・提携等の一環です。

めぶきフィナンシャルグループ各社は、「地域とともにあゆむ価値創造グループ」を長期ビジョンとして掲げ、持続可能な地域社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする地域の全てのステークホルダーの皆さまの課題に寄り添い、ともにあゆみ解決することで、新たな価値を創り続けてまいります。

記

1. 提携およびサービス開始の背景

日本国内では認知症患者数が5年毎に100万人ペースで増加しており、2020年時点で約630万人の患者数は、2050年には1,000万人を超えると推計^{*4}されています。認知症を発症した場合、ご本人の意思確認が必要となる行為（預金の引き出しや不動産の売買等）が出来なくなるリスクがあり、超高齢化社会において、高齢者が安心して生活していくための、また、自身の資産を有効活用していくための環境づくりは大きな社会課題の一つとなっています。

「家族信託」は、家族間で信託契約を締結し、親世代が健康なうちに資産の管理権を子世代に移転することで、意思決定や判断能力が不十分になった後もご家族による資産管理・運用を可能とし、さらに相続後の遺産分割までを担うことができる仕組みです。

めぶき証券では、「家族信託」を地域の課題解決の有力な仕組みのひとつと捉え、トリニティ・テクノロジー株式会社との提携し、家族信託とデジタル技術を組み合わせることで、お取引先の皆さまとご家族の認知症対策に貢献するとともに、各々のニーズに合わせた円滑な相続・資産承継の実現に向けたコンサルティングサービスを提供してまいります。

2. サービス開始日

2023年3月1日（水）

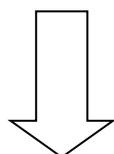
以上

本件に対するご照会は、下記までお願いいたします。

めぶき証券 営業統括部 高信 029-233-1698

<参考：家族信託の概要>

認知症を発症した場合、預金口座のみならず、不動産取引や証券取引といった全ての財産管理・運用に関する取引が凍結されるリスクがあります。事前にご家族（ご子息等）との家族信託契約を締結することにより、ご本人の意思能力低下・喪失時においても、ご家族による資産管理・運用の継続が可能となるなど、認知症等発症時への有効な備えとなります。

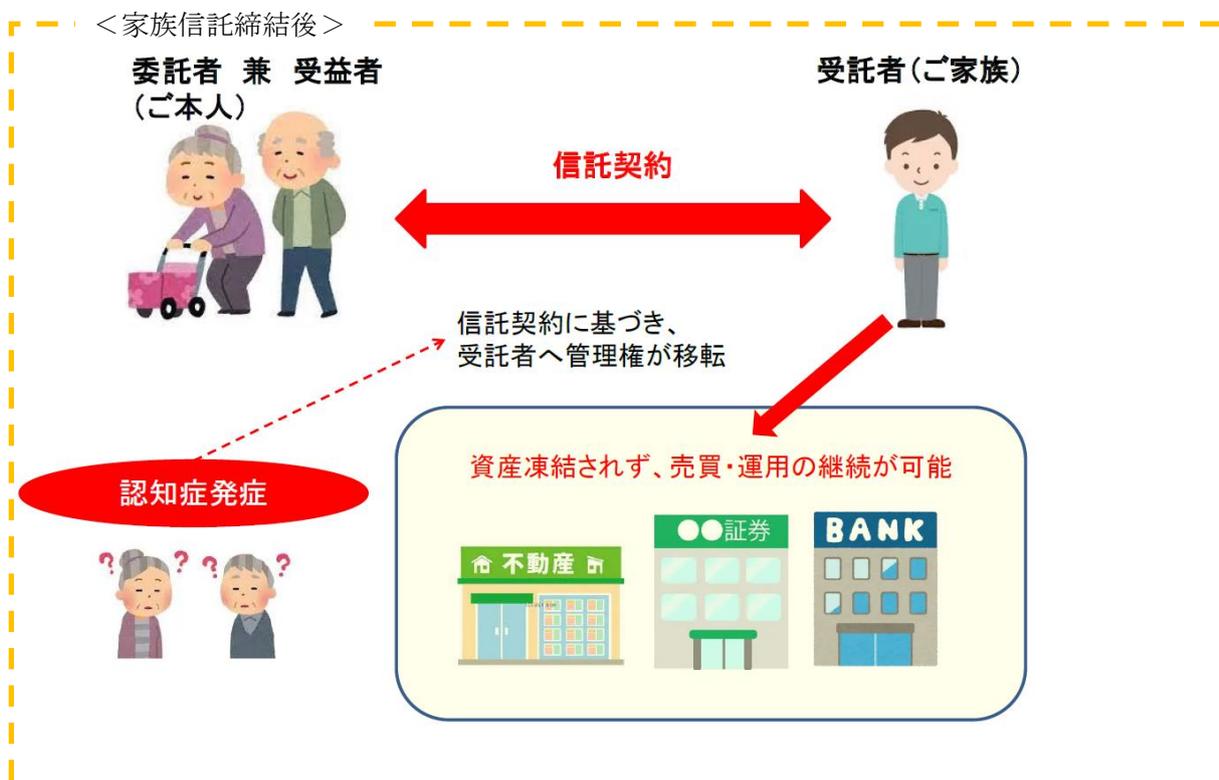


TRINITY
TECHNOLOGY



MEBUKI めぶき証券
めぶきフィナンシャルグループ

提携により家族信託サービスを提供



<トリニティ・テクノロジー株式会社の概要>

所在地	東京都港区新橋 2-1-1 山口ビルディング 1 階
代表者	磨 和寛
事業内容	家族信託サービス「スマート家族信託」の運営 家族信託・相続等の専門家コミュニティ「TRINITY LABO.」の運営 相続手続き「スマホ de 相続」の運営 等
会社設立	2020 年 10 月
ホームページ	https://trinity-tech.co.jp/

<スマート家族信託の概要>

サービスサイト	https://sma-shin.com/
概要	<p>「スマート家族信託」は、家族信託の組成コンサルティングを専門家が行うだけに止まらず、信託契約締結後に信託したお金や資産をアプリで簡単に管理することができる、コンサルティングと S a a S^{※2} プロダクトを掛け合わせた日本初のサービスです。</p> <p>信託口座との A P I^{※3} 連携等を搭載したシステムと、司法書士などの専門家による継続的なサポートにより、家族信託の運用の手間を大幅に省き、かつ、家族の財産を安全に管理することが出来ます。</p>

<スマート家族信託の運営イメージ図>



- ※1 「家族信託」は、一般社団法人 家族信託協会の登録商標です。
- ※2 Software as a service の略。サービス提供者側のサーバーで稼働するソフトウェアをインターネットなどに経由させて、サービス利用者が必要とする機能や分量のみを選択して利用出来るサービス提供形態のこと。
- ※3 Application Programming Interface の略。他のシステム機能やデータを安全に利用するための接続方式のこと。顧客の同意に基づいて他の事業者からの銀行システムへのアクセスを許諾する機能を有するもの。
- ※4 「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」(H26 年度厚生労働科学研究費補助金特別研究事業) より出典。